

平成 30 年 7 月吉日

熊本大学工学部建築系学科ご卒業、大学院修了の皆様

熊本大学工学部建築学科
平成 29 年度学科長 位寄和久

熊本大学工学部創立 120 周年記念事業に対するご協力へのお礼

前略

皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年 11 月 4 日に執り行われました熊本大学工学部創立 120 周年記念事業おきましては、ひとかたならぬご支援とご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。同事業を終えておよそ半年を過ぎしましたところですが、工学部同窓生の皆様からのご寄付により設置されたバナー・ポールが工学部正門から皆様をお迎えしています。今年度の入学式においてひととき目立つ存在となり、新入生も心を躍らせて入学式に臨んだことと拝察いたします。

さて、同事業における当学科の行事は、阿萬忠昭氏（S54 年卒）による東南アジアの建設業活動に関する記念講演会を開催致しました。下記に記すように講義室が溢れるほどのご来場を頂きました。重ねてお礼申し上げます。簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げますとともに、本学建築系の益々の発展のためにご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

草々

■ 建築学科の行事概要

工学部 120 周年記念の建築学科の記念講演では、ジャヤ大林前社長・阿萬忠昭様（昭和 54 年卒）にゼネコンの現地法人の代表としての 10 年間のご経験から、熊本大学卒業生のジャカルタ黒髪会の活動を含めて、インドネシアを中心とした建設プロジェクトに携わっている多くの卒業生のご活躍を話していただきました。インドネシアと日本との生活習慣や考え方の違いがいかに建設プロジェクトに関連し、どのような結末となるのか、実際の経験に基づくお話の数々は講演会を大いに盛り上げました。

結びには、これからの日本の建設業を支える卒業生には、技術力と交渉力と語学力を兼ね備えた人材が必要不可欠であり、その要請に熊大建築の OB、OG が是非応えて欲しいとのお言葉を頂きました。

講演会には 100 名を超える出席者に聴講頂き、引き続き夕刻の懇親会においても、楽しいご歓談の会話が途切れることはありませんでした。



写真1 記念講演で冒頭の挨拶をされる阿萬氏



写真2 約100名の建築学科OB・OG、現役学生・職員が聴講した



写真3 講演終了後の記念写真（左から山成教授、位寄教授、阿萬氏、越智准教授）